

JAMトピックス

JAM第21 回定期大会開催

初の緊急提案を満場一致で採択 「日本コンベヤ闘争支援決議」



JAM20周年 JAM運動さらなる発展に向け 団結ガンバロー！

JAM結成20周年となる第21回定期大会が8月29日～30日の両日岐阜市で開かれ、JAM結成以降定期大会で初となる「日本コンベヤ闘争支援決議」の緊急提案がJAM大阪の代議員から出され、満場の拍手で採択された。また、「二〇二〇・二一年度運動方針」や「予算」、「二〇一九年春季生活闘争総括」、「第二十五回参議院選挙の中間まとめ」に関する件など十一本の議案を審議、十五人の代議員からの意見・要望を受け、それぞれ賛成多数・満場一致で決定された。

来賓には連合から逢見直人会長代行、JCMの高倉明議長、基幹労連から神田健一中央執行委員長、JAM準組織内国会議員の森本真治参議院議員（国民民主党）がそれぞれ祝辞を述べた。

安河内賢弘会長は、前々日からの佐賀県を中心とする九州北部豪雨に対するお見舞い、田中ひさや候補を擁立した参議院議員選挙について「惨敗」ということをベースに総括していく、IGメタルから学んだことを実行するなど語った。



再任した、安河内賢弘会長（右）・中井寛哉書記長（左）



TCS グループの企業乗っ取りと不当労働行為に対して地労委で救済命令を勝ち取ったこと。会社が中労委に不服申し立てしたことについて経過報告とこれまでの支援の御礼、更なる支援の要請をした日本コンベヤ労組・荒内康彦執行委員長